2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘央学園 湘央医学技術専門学校 学校関係者評価委員会

学校法人湘央学園 湘央医学技術専門学校 学校関係者評価委員会は「2022年度自己 点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による学校関 係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1. 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像は明確に定められており、生徒、教員ともに概ね周知されている。今後はこれらを入学前より周知させた方が良いと考えており、オープンキャンパスなど、広報活動を通じ、あらかじめ周知が行えればと考えている。

2. 学校運営

自己評価はほとんど「適切」の評価で、当年度の理事会・評議員会で次年度の学園 運営方針・学科事業目標を設定し、次年度の理事会・評議員会で目標達成状況報告を 行っている。周知は行っているが、情報が不明確なところもあるので、学科事業目標 設定の過程や情報伝達について検討していく必要があると考えている。コンプライア ンスについては、苦情・要請があった場合は都度、報告書を作成し、対処した記録を 残すことが必要だと考えている。

上記の自己評価に対して外部委員より意見はなかったものの、教員における時間外 労働勤務、時間外手当の不支給については問題視され、将来的に是正するべきではな いかという意見が挙げられた。

3. 教育活動

臨床検査技術学科の嘱託教員(医療機関退職者)が多く、学科全体の平均年齢が高くなってしまっている。将来の世代交代を視野に入れ新卒の教員(当初は助手)を積極的に採用・育成していくことが必要である。

4. 学修成果

近年、国家試験の合格率が低下し続け、今年度も厳しい結果となった。主な原因は 入学時の学力不足であると判断しており、今後は生徒の能力に応じた個別の対応を強 化していく。また、全教員においても、生徒が躓いている箇所の把握に努め、問題点 を検証できるようにする。最終的には、全員が卒業して国家試験の受験機会が得られ るようにしていく。 また、外部委員から国家試験不合格者に対し、卒後3年間程度は半強制的に再受験対策講座(来校による聴講、オンラインによる配信(中継・録画))を受講させ、既卒生の合格率を上げるべきとの意見が挙げられた。提言を受け、今後は受講を義務化していくか検討することとなった。

5. 学生支援

自己評価においては、各項目いずれも適切に実施されていると評価できるが、外部 委員より、中途退学の要因に心身疾患による者が多い点を指摘され、他校ではカウン セラーを増員、相談の機会を増やしている所もあることから、本学でも同様の対応を すべきとの意見が挙げられた。今後の検討課題としたい。

6. 教育環境

大きな問題はないが、最新の実習機器が少なく、老朽化が進行しているものも多い。 今後は機器の点検・修繕と並行し、計画的な交換も検討していく。

7. 学生の受入れ募集

高等学校への情報提供、学生募集活動、入学辞退者に対する学生納付金の返還等は適切に行っている。また、生徒募集活動に関する計画や内容については、学務部において、年度ごと事前に検討を行っているが、今後は全教職員が生徒募集活動の計画や内容を共有できるように図りたいと思う。これからの生徒募集活動は全学的な取り組みが不可欠だと考えている。

8. 財務

特に大きな問題はなく、健全にすすめられている。また、決算終了後は財務状況を 学園ホームページ内で適切に公開されている。

ただし、外部委員より近年の入学生が減少傾向であることから、減収が懸念され、 今後の経営の見通しについて質問があったが、学園側としては、今後も医療系のニーズは続き、極端に入学生が減少することはないと予測しており、当面は広報活動の充 実化、中途退学者の阻止、身近な経費削減策を軸に経営の安定化を図っていく。

9. 法令等の遵守

所轄官庁への定期報告義務、職業実践専門課程として評価結果の公開義務があり、いずれも適切に実施されている。

10. 社会貢献・地域貢献

新型コロナウィルスの影響により、学生のボランティア活動への促進が困難となり、 現状はオープンキャンパスにおいて、来校者の案内役を募っている程度となっている。 今後は学園祭において、地域の方々を案内する機会を提供する。